

● 地域の情報や身近な話題、
耳寄りな情報をお待ちしています！



↑ 鬼火で暖をとる親子連れら（浦底）

★ 水産マイスター塾卒入塾式 水産業支える若い力

1月17日、水産マイスター塾の卒入塾式が役場内でありました。

式では、川添健町長から卒塾する第8期生（6人）に修了証書が、新たに入塾する第9期生（3人）に入塾許可証が手渡されました。

式で川添健町長が「荒波を乗り越えられる、強い経営者になることを期待します。日本を、世界をリードする長島になるべく、努力してください」とあいさつしました。

入塾生を代表して長岡直登さん（葛輪）は「海外研修やボランティア活動を通じて、将来、水産業のリーダーになれるよう頑張ります」と力強く決意を述べました。



↑ 決意を述べる入塾生代表の長岡さん

★ 各集落で鬼火たき 無病息災を祈願し焼き餅食す

1月7日、町内の各集落で鬼火たきがありました。

福ノ浦集落や浦底集落では、午後から育成会などが準備を始め、広場に笹のついた竹やスギの木を高く積み上げ、やぐらを作りました。

準備が整えられた広場には、集落から子どもや高齢者ら、集落民がぞくぞくと集まりました。積み上げられたやぐらに火が付くと、竹が割れる「パンッ！パンッ！」という音が鳴り響き、白い煙が天高く上がり、正月の間、それぞれの家で飾られたしめ縄などが火の中に放り込まれました。

集まった人は火の中から取り出されたおきで餅を焼いて食べ、無病息災を祈願しました。



↑ 真剣な表情でかるたを見つめる児童ら

★ 長島郷土かるた取り大会 息を飲む静寂の中で

1月11日、町開発総合センターで第4回長島郷土かるた取り大会がありました。

大会には、町内の小、中学校の児童生徒約120人が参加し、日頃の練習の成果を発揮し、真剣な表情でかるた取りに挑みました。

この大会で使用されるかるたは、町内各地区の子ども会で考え作られた作品で、競技は学年にあわせて、小学1年生から3年生までは並べたかるたを取り合う「散らし取り」で、4年生から中学生までは自陣に並べた持ち札をいかに早く減らせるかを1対1で競う「源平合戦」で行われ、白熱した戦いをみせました。